

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 5 日 (ひなたぼっこ)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 牧野・井上・松下・南光・白瀧・溝内・大久保

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	0人	1人	4人

前回の改善計画	・家族交流会に参加できなかった職員は、ご家族に会うことができないので、交流会の様子を写真に撮らせて頂き、利用者の個人ファイルに貼らせて頂き、顔くらいはわかるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	ほぼ取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	4			6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		6			6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	4			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用前に出来るだけ情報提供出来るように努めている ・情報がわかり次第、職員には出来る限り伝えるようにしている ・家族交流会に参加された家族さんの写真は個人ファイルに入れている ・利用開始すぐの利用者の方の情報は、会話の中でも拾いそのことを記録に残している点	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族交流会に参加されるご家族はいつもお会いできる方で会えない方は参加されなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
家族交流会に介護者の方がもっと参加してもらえるようにアピールしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 5 日 (ひなたぼっこ)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 牧野・井上・松下・南光・白瀧・溝内・大久保

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	5人	人	6人

前回の改善計画
・本人の目標 (ゴール) について、担当職員を決め、深くかかわって聞いていく ・全員分のゴールを1枚のシートに残し、誰が見てもわかるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ゴールシートはほぼ出来ているが、活用されていない ・誰も振り返りをしていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		2	4		6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4	2		6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	3		6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2	3		5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・目標 (ゴール) について思いを聞きシートに記入している ・当面のやりたいという希望には添えていると思う ・ゴールについてそれぞれの職員でご利用者に尋ねることはだいぶできた

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・日々個々の利用者に声をかけ、話をするにはしているが、関わりが出来ていない方もいる → 介助を必要とする方に行ってしまう ・ゴールという表現があいまいで本人の気持ちが聞き取れない ・内容をミーティングで振り返りが出来ていなかった ・すべての利用者の聞き取りが出来ていないように思う → 関係性がしっかりとある利用者の方には深く聞けるが出来ていないと難しい ・ゴールについて職員間で共有出来ていない

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ゴールシートを記入するだけで終わらず、職員間で共有しご利用者本人の思いを知るようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 5 日 (ひなたぼっこ)

3. 日常生活の支援

メンバー 牧野・井上・松下・南光・白瀧・溝内・大久保

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	3人	1人	5人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での生活環境を知るために自宅での1日の過ごし方の聞き取りを行い、ケース記録に残す ・1ヶ月ごとにケース記録を印刷し、その中から1日の過ごし方を拾い出し、暮らしまとめシートに書き出す
前回の改善計画に対する取組み結果	聞き取ることは出来ているが、暮らしまとめシートに書き出せていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			6		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	5			6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	2		6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	4			6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	4			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・担当の利用者の方を聞きシートに記入 ・体調の変化や気持ちの変化にはとても敏感に対応出来ている ・健康面、日々の小さな変化に常に気を配っていると思う ・朝だけでなく昼にミーティングを行い情報共有している ・来所時や入浴時などに特に変化がみられるかなと思う 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・把握できていない→昔の話や様子など職員が感じたことをシートに記入していくことでその方の暮らしぶりが見えるのではないかと ・自立で生活されておられる方の日常の細かい所まで把握できていない →プライバシーの事もあり踏み込んで聞けない ・「以前の暮らし方」を十分に聞き出せていない点 →流れのある中で会話をしている「聞き取ろう」という気持ちがうすいため 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
書式を変え、時計の文字盤の用紙を作りゲーム感覚で生活スタイルを把握してみる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 5 日 (ひなたぼっこ)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 牧野・井上・松下・南光・白瀧・溝内・大久保

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	2人	人	5人

前回の改善計画
・地域とのかかわり、人間関係、民生委員、地域の資源など、会話に中から、その人の生活がかいま見える言葉は記録に残す。

前回の改善計画に対する取組み結果
ひなたぼっことしては地域と関わっていているが、ご利用者自身は身体的な理由から関わっていけない、利用出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	2		5
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6			6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2	4		6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	5		6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域との関係が切れないように努めている
・在宅をより充実したものとなるよう支援し地域の祭りなどにも参加している
・ご利用者のその人なりの生活スタイルは理解できている
・通所時には休みの日はどうされ、過ごされたのか会話を通し把握しケースに記入している

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・在宅での様子がやはり把握しにくい
・すべての利用者についての地域とのかかわりがわかりません
→家族の考えもありむずかしい
・関わりのない地域の民生委員の方は把握していない
→利用者がその区におられないと接点も少ない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
各地区の民生委員や地域資源などを、わかっている民生委員に聞くなど積極的に情報収集していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 5 日 (ひなたぼっこ)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 牧野・井上・松下・南光・白瀧・溝内・大久保

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	3人	人	5人

前回の改善計画	・地域の資源が把握できていないので、ご近所さんのかかわりについても記録に残す。
前回の改善計画に対する取組み結果	守秘義務があるため把握が難しい面もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		5	1		6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		6			6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	4			6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	4			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・必要な利用者には訪問や泊まりなど提供出来ている ・日々のかかわりでご本人の「変化」には職員皆で共有し対応している ・本人の変化に気づき柔軟な対応が出来ている ・ミーティング等で個人の変化などを話し合い共有しあっている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の資源があまり把握できてなかった ・地域の資源の活用はなかなか出来ていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご利用者に対しては柔軟な対応が出来ているが、わかっていないご利用者の地域資源をご利用者から聞きとりまとめて情報共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 5 日 (ひなたぼっこ)

6. 連携・協働

メンバー 牧野・井上・松下・南光・白瀧・溝内・大久保

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	3人	2人	6人

前回の改善計画	・新しい地域のイベントに参加する。奥銀谷自治協がされている体操に参加 (年 2 回)
前回の改善計画に対する取組み結果	新しい地域のイベントに参加は出来ていないが、前年度とは別の近場での体操教室に打診している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		1		3	4
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1		5	6
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	3			6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	3			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・いろいろな祭りには参加しようとしている (敬老会など) ・ボランティアさんや地域の小・中学生が学校の活動を通して訪ねて来てくれる ・地域の組長会・敬老会・地藏盆など参加している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・既存のイベントには参加しているが新しいイベントには参加出来ない点 ・奥銀谷自治協の体操に参加できなかった ・体操の日程が把握できておらず、ミーティングでも話に上がっていない →情報収集が必要なのは?	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
二区のコミセンで行われている体操教室に問い合わせ中であり、参加可能であれば参加したい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 5 日 (ひなたぼっこ)

7. 運営

メンバー 牧野・井上・松下・南光・白瀧・溝内・大久保

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3人	3人	人	6人

前回の改善計画	・事業所のあり方について機会があれば、職員一人一人意識を持っていつでも答えられるように準備しておく
前回の改善計画に対する取組み結果	機会があれば説明している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		4	2		6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6			6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	1		6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	5			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 尋ねられた時には事業所の説明など伝えている ・ ご利用者やご家族の意見や思いはすぐに対応出来ている ・ 施設内外どちらも声を出し合い改善に取り組んでいると思う ・ 地域からの意見は反映するようにしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 自信をもって答えられるとは言えない →事業所のあり方について理解は出来ているが発言したり答える自信はない ・ 地域との連携など話し合いの場は持っているが具体的に取組んでいない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ひなたぼっこのパンフレットを手近なところに常備し、いつでも誰でも説明できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 5 日 (ひなたぼっこ)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 牧野・井上・松下・南光・白瀧・溝内

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	1人	人	5人

前回の改善計画	・研修案内を綴っているだけでなく、興味を持って参加してもらえよう発信していく
前回の改善計画に対する取組み結果	研修案内を発信出来ており、職員皆に参加してもらえた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	4			6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	1	1	6
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	1	1	5
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		4			4

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修の発信・実施参加出来ている ・リスクは常に意識しているつもりだがまだまだ	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修参加は出来ているが報告が十分にされておらず職場で共有出来ていない ・積極的に自発的に研修の参加をしなかった点→余裕がなく意欲が足りなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後もスキルアップのための研修には積極的に参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 5 日 (ひなたぼっこ)

9. 人権・プライバシー

メンバー 牧野・井上・松下・南光・白瀧・溝内・大久保

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	人	人	6人

前回の改善計画	・入浴時、出入り口の戸が全部開放になっていたり、カーテンが開きかけていたりしているので気をつけてしめる
前回の改善計画に対する取組み結果	職員が意識を持ち取り組むことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	2			6
②	虐待は行われていない	6				6
③	プライバシーが守られている	3	3			5
④	必要な方に成年後見制度を活用している			2	3	5
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	3			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・入浴場所のカーテンや戸が開いていても気が付いた職員が閉めプライバシーに気をつけている ・見守りが必要な方に対し拘束ではなくすべり止め・センサーマットなどを使用し対応している ・身体拘束や虐待などしていない	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見人制度を活用する対象者がいない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
個人情報については節度をわきまえて、ご利用者との会話を気をつけていく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人	代表者	伊藤 宣廣	法人・事業所の特徴	登録定員 18 名。建物は小さく狭いですが、小規模で家庭的な雰囲気の温かい施設を目指しています。利用者様には施設内での役割を見つけて頂いたり、住み慣れたこの生野の地で、地域の一員としての役割を持ちながら、最後まで安心して暮らして頂けるような支援を心がけています。
事業所名	小規模多機能施設 ひなたぼっこ	管理者	牧野 浩美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	4 人	人	1 人	1 人	人	1 人	2 人	10 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所の自己評価について、運営推進委員会などで説明、検討する機会を作る。また、途中経過を報告する	・途中経過を説明することができなかった	・事業所の自己評価については、説明がないとわからない	・運営推進会議は 6 回開催されるので 3 回目には経過報告を行う
B. 事業所のしつらえ・環境	・ご利用者が安全に動いて頂けるように移動される通り道をしつかり確保する	・安心して移動して頂くようにしてきたが、車いす、歩行器使用の方が増えさらに狭くなった	・限られた空間は仕方がないが、現状はしっかりと伝えるしかない	・毎日、ご利用者の状況に合わせて安全に移動して頂けるようレイアウトを変える
C. 事業所と地域のかかわり	・ひなたぼっこだより（回覧分）の「お気軽にお立ち寄りください」の一文を入れる。地域の方と話す機会があれば積極的に声をかける	・ひなたぼっこだよりに「気軽にお立ち寄りください」の一文を入れた。近所の方へは積極的に声をかけた	・PR の仕方の工夫が必要ではないか。ひなたぼっこの貼り絵はとても上手なので、それを生かしたもので考えてはどうか	・ひなたぼっこがどのような施設なのか PR できるものを生野の公共施設、病院、店舗などに掲示する
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・ご利用者の地域の民生委員さんを把握し情報交換をする機会を作る。新たな地域の行事の一つでも参加する	・民生委員さんと情報交換をする機会については、働きかけはしたが、実行できなかった。新たな地域の行事参加も相談中	・ご利用者の状況、職員体制もあるので、出かけていくというのは、なかなか大変	・現在相談中の内容を具体的に参加できるように、継続して話をすすめていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	・地域の心配な方がおられないかを運営推進委員会で議題としてあげ確認する	・地域の心配な方についても少しは議題としてあげることができた	・地域の方のことも、会議の話の中にできるようになった	・地域の心配な方の、その後についても情報共有しながら支援していく
F. 事業所の防災・災害対策	・ひなたぼっこの避難訓練に運営推進員さんに参加して頂き、ご意見を聞かせて頂く	・ひなたぼっこの避難訓練に、全員に声をかけることは出来なかったが参加して頂けた	・災害時、施設が狭いので避難場所にはなりにくいと思われる ・避難訓練では職員は役割分担をしっかりと避難経路から車いすの方も安全に避難されていた	・ひなたぼっこの避難訓練開催を年間計画に入れ、早めに計画し運営推進員さんへ参加を依頼し、参加して頂く

